

令和7年度学校評価アンケートまとめ(教職員) ※回答者115名

	項目	内容	そう思う	ややそう思う	あまり そう思わない	そう思わない
学校経営	1 教育目標	本校では、自立・社会参加、社会貢献を目指す教育活動が行われている。	58	55	2	0
	2 学校運営 学部運営	本校では、全職員の協力・協働のもと、適切なカリキュラムマネジメントに基づいた学校運営・学部運営が行われている。	40	69	6	0
	3 情報の共有	本校では、情報の共有化や管理者・関係部署等との意思伝達(報告・連絡・相談)が、的確に行われている。	44	56	14	1
	4 法令遵守	本校では、体罰防止、人権尊重、個人情報保護・守秘義務等の法令遵守の徹底に常に取り組みと共に、私費会計等については、適正に処理している。	60	52	3	0
教育活動	5 教育的ニーズに応じた教育	本校では、児童生徒の実態や発達段階等を把握し、教育的ニーズに応じた教育活動が適切に行われている。 (教育支援計画、指導計画の作成及び活用と観点別評価の充実)	54	60	1	0
	6 指導の一貫性	本校では、学級・学年・学部間の連携がとれ、一貫性のある教育課程の編成及び特色のある教育指導に取り組んでいる。(学部会・教科会等の充実)	44	63	5	3
	7 行事等の取り組み	本校では、安全教育、健康教育、交流及び共同学習、学校行事等、児童生徒に必要な取り組みが計画的かつ適切に行われている。	61	49	4	1
キャリア教育	8 キャリア教育 進路指導	本校では、キャリア教育・進路指導が適切に行われている。 ※キャリア教育=自分らしい生き方を実現するための能力や態度を育てる教育	52	55	8	0
健康安全	9 学校給食	本校では、栄養バランスの取れた給食が安心・安全に提供されている。	98	16	1	0
	10 危機管理	本校では、感染症や緊急時の対応、児童生徒に対する健康教育が適切に行われている。	78	34	3	0
	11 危機管理	本校では、学校防災危機管理体制の充実に努めている。 (避難訓練、不審者対応訓練等の実施、緊急時マニュアルの整備等)	73	37	5	0
教育相談	12 児童生徒	本校では、児童生徒の相談をよく聞き、適切に対応している。	65	49	1	0
	13 保護者	本校では、保護者からの教育相談に適切に対応している。	69	45	1	0
	14 関係機関と連携した支援	本校では、関係機関と連携した支援の充実に努めている。	69	44	2	0
生徒指導	15 人権	本校では、児童生徒の人権に配慮した行動や言葉づかいに気をつけ、児童生徒の状況に応じた適切な指導・支援が行われている。	49	60	6	0
	16 不登校への対応	本校では、不登校について組織的に対応している。	46	61	8	0
	17 いじめへの対応	本校では、いじめの未然防止、早期発見、早期解決等迅速な対応に努めている。	71	42	2	0
連携	18 地域社会との連携	本校では、地域社会や関係機関と連携した教育活動が行われている。	45	59	11	0
	19 家庭との連携	本校では、説明責任を果たし、家庭と連携した教育活動を行っている。	67	44	4	0
研修	20 授業改善	本校では、分かりやすい授業の創意工夫を図るとともに、児童・生徒が主体的に活動・行動しようとする意欲・態度を育てる授業改善を行っている。	60	54	1	0
	21 校内研修	本校では、校内研修を計画的に実施し、教職員の専門性向上に努めている。	64	48	3	0
PTA	22 PTA活動	本校では、PTA活動が適切に行われている。	65	48	2	0
環境美化	23 環境美化	本校は、環境美化に努めており、常に清潔で利用しやすい。	64	44	6	1
事務・ 現業部	24 事務処理	本校では、法令等に従った適切な事務処理がされている。	88	27	0	0
	25 安全管理	本校では、施設・設備の安全管理に努めている。	80	34	1	0
図書室	26 図書室	本校の図書室では、学校教育に必要な図書資料等が整理・保管・活用されている。	85	26	4	0
スクールバス	27 スクールバス	本校では、スクールバスが安全に運行されている。	86	29	0	0
寄宿舎	28 寄宿舎教育	本校では、寄宿舎教育が適切に行われている。	75	40	0	0
	29 家庭・学部との連携	本校では、家庭、学部、舎が連携した教育を行っている。	75	37	3	0
働き方改革	30 人間関係	本校では、同僚・管理者との良好な人間関係の構築ができています。	53	49	12	1
	31 業務における裁量	本校では、個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができています。	24	46	30	15
	32 信頼関係	本校では、一人一人の児童生徒との信頼関係を深めることができています。	52	58	5	0
	33 研修・研究の充実	本校では、より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実しています。	39	62	12	2
	34 心身の健康・職場環境	本校では、心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています。	30	53	24	8

令和7年度学校評価アンケートまとめ(保護者) ※回答者数:77名

項目	項目	内容	そう思う	ややそう思う	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない
学校経営	1 教育目標	本校では、自立・社会参加を目指す教育活動が行われている。	55	21	0	1	0
教育活動	2 児童生徒の実態に 応じた教育	本校では、児童生徒一人一人の成長に合わせた教育が行われている。	48	26	3	0	0
	3 行事等の取り組み	本校では、安全や健康に関する指導、他校との交流や学校行事など、児童生徒に必要な活動が計画的に行われている。	46	26	2	1	2
	4 教育活動の周知	本校では、HPやスクリーン等を通して、積極的に情報発信が行われている。	43	24	8	0	2
キャリア教育	5 キャリア教育 進路指導	本校では、キャリア教育や進路指導が適切に行われている。 ※キャリア教育=自分らしい生き方を実現するための能力や態度を 育てる教育	32	29	6	2	8
	6	卒業までに身につけて欲しい力はどれですか。(協力する力、自分の意見を伝える力、地域と関わる力、自分で考えて行動する力、その他(自由記述欄へ))※複数回答可	協力する力:51名 自分の意見を伝える力:65名 地域と関わる力:26名 自分で考えて行動する力:61名 その他:1名				
健康教育	7 学校給食	本校では、栄養バランスの取れた給食が安心・安全に提供されている。	64	9	0	0	4
	8 感染症・緊急時の 対応	本校では、感染症や緊急時の対応が適切に行われている。	53	20	1	0	3
教育相談	9 児童生徒	本校では、児童生徒の相談をよく聞き適切に対応している。	50	19	2	0	6
	10 保護者	本校では、保護者からの教育相談に適切に対応している。	50	23	3	1	0
	11 関係機関と連携した 支援の充実	本校では、関係機関と連携した支援の充実に努めている。	36	28	4	0	9
生徒指導	12 人権	本校では、児童生徒の人権に配慮した行動や言葉づかいに気をつけ、児童生徒の状況に応じた適切な指導・支援が行われている。	55	19	3	0	0
	13 不登校への対応	本校では、不登校について組織的に対応している。	15	6	3	1	53
	14 いじめへの対応	本校では、いじめの未然防止、早期発見、早期解決等迅速な対応に努めている。	23	4	2	1	47
連携	15 地域社会との 連携	本校では、地域社会や関係機関と連携した教育活動が行われている。	34	26	2	0	15
	16 地域社会との 連携	地域の特色や文化を生かした活動として、何か取り入れてほしい活動はありますか。(特になし・ある(自由記述欄へ))	ある:9		特になし:68		
	17 家庭との連携	本校では、家庭と連携した教育活動を行っている。	47	26	3	0	1
PTA	18 PTA活動	本校では、PTA活動が適切に行われている。	43	20	4	1	9
環境美化	19 環境美化	本校は、環境美化に努めており、常に清潔で利用しやすい。	57	18	1	0	1
事務・ 現業部	20 安全管理	本校では、施設・設備の安全管理に努めている。	48	24	2	0	3
図書室	21 図書室	図書室には、児童生徒の興味がある本がたくさんある。	26	18	1	1	31
スクールバス	22 スクールバス	本校では、スクールバスが安全に運行されている。	52	10	1	0	0
寄宿舎	23 寄宿舎教育	本校では、寄宿舎教育が適切に行われている。	15	3	0	0	58
	24 家庭・学部との 連携	本校では、家庭、学部、舎が連携した教育を行っている。	19	5	0	0	52

令和7年度 学校評価アンケートまとめ(児童生徒) ※回答者数:40名

		項目	そう思う	ややそう思う	あまり そう思わない	そう思わない
	所属	小学部・中学部・高等部	回答者数 小:0 中:8名 高:32名			
1	教育目標	学校はたのしい。	23	12	4	1
2	教育的ニーズに応じた教育	勉強(授業)は、わかりやすい。	20	16	4	0
3	教育活動	先生や友だちは、よくあいさつをしてくれる。	29	10	1	0
4	ICT機器の活用	iPadやパソコンが使えるようになった。	23	12	4	1
5	生徒指導	先生は、社会のルールについて教えてくれる。	26	12	2	0
6	進路指導	将来の夢を実現するためにがんばっている	20	14	3	3
7	学校給食	給食は、おいしい。	27	10	1	2
8	健康教育	先生は、健康や身体のことについて教えてくれる。	27	9	3	1
9	感染症対策	先生は、病気にかからないようにするためのことを教えてくれる。	25	11	2	2
10	安全教育	先生は安全に過ごすためのことについて教えてくれる。	29	10	0	1
11	教育相談	何でも相談できる先生がいる。	21	9	6	4
12	人権	先生は、やさしくわかりやすい言葉で、ていねいに教えてくれる。	25	13	1	1
13	いじめへの対応	先生は、こまったときに助けてくれる。	25	12	2	1
14	環境美化	大平特別支援学校は、掃除されていて、お花がいっぱいあるきれいな学校である。	25	10	4	1
15	図書室	図書室には興味がある(好きな)本がたくさんある。	15	13	5	7
16	スクールバス	スクールバスに乗ることが好き。	14	9	6	11

令和7年度 学校評価アンケートまとめ(学校評議員) ※5名

	項目	内容	そう思う	ややそう思う	あまり そう思わない	そう思わない
1	教育目標	教育目標を分かりやすく伝えている	4	1	0	0
2	教育実践	教育課程について適切に取り組んでいる。	4	1	0	0
3	健康・安全	健康・安全教育に適切に取り組んでいる。	5	0	0	0
4	環境美化	校舎内外の環境美化に適切に取り組んでいる。	5	0	0	0
5	進路指導	適切な進路指導に取り組んでいる。	4	1	0	0
6	PTA活動や 地域との連携	保護者や地域と連携し、円滑な学校運営に取り組んでいる。	3	1	1	0
7	組織体制	校長のリーダーシップのもと学校が適切に運営されている。	4	1	0	0
8	学校評議員会	学校評議員会が適切に運営されている。	5	0	0	0

令和7年度学校評価結果分析

I 保護者（回答内訳 小：38名，中：19名，高：20名，合計：77名）

全体的な傾向としては、概ね良好である。昨年度との比較では、R6・R7ともに「教育目標」「学校給食」「感染症・緊急時の対応」「家庭との連携」などは高評価を維持。一方で、不登校・いじめ対応や地域連携、図書室・寄宿舎に関する項目については、利用状況や学部によって回答が割れる傾向が見られる。

今年度の結果について、「あまりそう思わない・そう思わない」の回答が10%以上を占めた項目は以下の2項目である。

	10%以上の項目
全 体	4. 教育活動の周知 5. キャリア教育・進路指導

「4. 教育活動の周知」については、自由記述の中で情報共有ツール（スクリレ）についての意見が上がっていることや（紙の）連絡帳がなくなったことで学校の様子を知る機会が少なくなっていることに関する意見が上がっていることから、言葉で伝えることが難しい子どもについては、連絡帳は学校の様子を知ることができる手段として重要視していることが伺える。一方、「子供の活動のできごとをスクリレを通して楽しく読ませたい」という意見もあることから、今年度から導入したスクリレについては、連絡帳的な機能として使用している学級もあり、学級や家庭によっては使い

こなせていない状況があるのではないかと推測する。使い方の周知をしっかりと行い、特に担任が使用方法等について把握し保護者への説明・案内ができるようにしていきたい。また、個別対応が必要なケースについても、柔軟に対応できるよう各学部で把握するなどの体制づくりを行っていきたい。

「5. キャリア教育・進路指導」については、自由記述にある意見として、卒業後の見通し・保護者同士のつながりに不安の声があるため、PTA活動や学年・学部での取り組みを計画していくなど、在校中から保護者のネットワーク形成や情報提供を行う必要があると感じる。また、今回のアンケートで卒業までに身に付けてほしい力について質問したところ、84%の保護者が「自分の意見を伝える力」と「自分で考えて行動する力」をあげている。「自分の意見を伝える力」「自分で考えて行動する力」を身に付けることは、キャリア教育の目的でもある「自分らしい生き方」につながる力であり、学校教育においても、個別の発達段階を踏まえながら、「自分の意見を伝える・自分で考えて行動する」力を育てていけるような教育活動を工夫していきたい。今後とも、本校のキャリア教育・進路指導について保護者と共有し、連携した取り組みを進めていきたい。

今年度のアンケートでは、「15. 地域社会との連携」について、どのような取り組みを希望するかについて新たな質問項目として追加した。保護者の意見として、「エイサー」「空手」「獅子舞」「陶芸」「紅型染」など沖縄の伝統文化があげられた。近くに公民館や教室があるという意見もあり、今後地域と連携した取り組みができないか検討してみたい。

今年度、高等部を卒業する生徒の保護者から、卒業式に旗頭を披露したいとの申し出があり、運動場で披露することになった。地域とのつながり、琉球の伝統文化の継承の一端を担う取り組みにつながると感じる。

自由記述には様々な意見が寄せられているが、学校として取り組みそうなことだけでなく、物理的に難しいことも含まれているので、丁寧な説明、保護者との連携・協力体制の構築に努める。

2 児童生徒（回答内訳 小：0名，中：8名，高：32名，合計：40名）

今回は、小学部の回答が0件であった。

中学部・高等部の生徒について、あまりそう思わない、そう思わないと回答した割合が高かった項目として、「スクールバスに乗ることが好き」「図書室には興味がある（好きな）本がたくさんある。」の2つの項目で30%～40%を占めている。この2つの項目については、今後「そう思わない理由」や「どのような本を入れてほしいか」などの調査をしていき、児童・生徒の要望に応じていけるようにしたい。

3 教職員（回答内訳 小：30名 中：36名 高：32名 舎：8名 事現：9名）

R6・R7年度の結果を比較してみた。(全体)

肯定率が上がった項目を5つ上げる。

- 1.働き方改革/業務における裁量：R6 49.6% → R7 60.9% (+11.2pt)
- 2.働き方改革/人間関係：R6 78.8% → R7 88.7% (+9.9pt)
- 3.働き方改革/研修・研究の充実：R6 78.8% → R7 87.8% (+9.0pt)
- 4.学校経営/情報の共有：R6 78.8% → R7 87.0% (+8.1pt)
- 5.学校経営/学校運営・学部運営：R6 87.6% → R7 94.8% (+7.2pt)

肯定率が低下した項目はを5つ上げるが、大幅な低下ではない

- 1.連携/地域社会との連携：R6 92.7% → R7 90.4% (-2.3pt)
- 2.健康安全/危機管理(感染症・緊急時対応等)
：R6 99.3% → R7 97.4% (-1.9pt)
- 3.寄宿舍/家庭・学部との連携：R6 99.3% → R7 97.4% (-1.9pt)
- 4.連携/家庭との連携：R6 97.8% → R7 96.5% (-1.3pt)
- 5.生徒指導/いじめへの対応：R6 99.3% → R7 98.3% (-1.0pt)

上昇している項目としては「働き方改革」の領域で特に顕著である。裁量時間の確保、人間関係、研修の充実が軒並み改善しており、今年度の取組が教職員の体感として前進していると推測する。

低下している項目については、もともと肯定率が非常に高い領域で、小幅な下振れに留まっている。次年度の取り組みとしては、上昇傾向にある「働き方改革」の定着・展開を進めつつ、地域・家庭連携においては情報共有の工夫(発信のタイミングや共有方法の設計など)を検討していく必要がある。

学部ごとの結果については、

【小学部】

肯定率が上がった項目

- 1.働き方改革/業務における裁量
- 2.働き方改革/人間関係
- 3.働き方改革/研修・研究の充実
- 4.学校経営/法令遵守
- 5.生徒指導/人権

肯定率が下がった項目

- 1.健康安全/危機管理
- 2.図書室/図書室

【中学部】

肯定率が上がった項目

- 1.生徒指導/不登校への対応
- 2.学校経営/法令遵守
- 3.働き方改革/人間関係
- 4.学校経営/情報の共有
- 5.学校経営/学校運営・学部運営

肯定率が下がった項目

- 1.働き方改革/心身の健康・職場環境
- 2.健康安全/危機管理

- 3. 生徒指導/いじめへの対応 4. 教育活動/行事等の取り組み
- 5. 働き方改革/業務における裁量

【高等部】

肯定率が上がった項目

- 1. 教育活動/教育的ニーズに応じた教育 2. 学校経営/情報の共有
- 2. 働き方改革/業務における裁量 4. 学校経営/学校運営・学部運営
- 5. 教育活動指導の一貫性

肯定率が下がった項目

- 1. 健康安全/危機管理 2. 図書室/図書室
- 2. 連携/地域社会との連携 4. 連携/家庭・学部との連携

【寄宿舍】

肯定率が上がった項目

- 1. 働き方改革/業務における裁量 2. 健康安全/危機管理
- 3. 教育活動/行事等の取り組み 4. 生徒指導/不登校への対応

肯定率が下がった項目

- 1. 学校経営/情報の共有 2. 連携/家庭・学部との連携

このように、部署ごとに差が見られるため、課題に関して各部署の職員で共有し、改善に向けた対応策を検討する必要がある。

今年度の結果に関しては、全体的に見て、概ね良好であると思われるが、「あまりそう思わない・そう思わない」の回答が20%以上10%以上を占めた項目は以下のとおりである。

20%以上	10%以上
※本校では、個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保ができています。	本校では、情報の共有化や管理者・関係部署等との意思伝達（報告・連絡・相談）が、的確に行われている。
※本校では、心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています。	※本校では、同僚・管理者との良好な人間関係の構築ができています。
	本校では、より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。

質問項目の頭に※がついている質問については、働き方改革推進室への回答質問である。令和6年度との比較では改善傾向にあるものの、まだまだ課題として感じている職員が多くいることを受け止め、今後どのような取り組

みが必要かを全職員でディスカッションし具体的な対応策を検討したい。

また、情報の共有化や報連相について課題があがったことについては、記述の中にある「仕事に追われていて、おしゃべりや交流する時間が以前に比べると減っている」という意見に代表されるように、多忙感が増していることも要因の一つであると推測する。情報の共有や報連相が的確に行われない状況は学校運営に多大な影響を与えることから、職員同士の対話の時間を生み出す工夫と共に、多忙な教育現場においては、ICTを活用した情報共有や報連相の仕組みの構築と活用についても模索する必要があると考える。今年度は情報担当職員でサーバーの入れ替えに伴い、データ保存の方法についてのルール作りをしているが、このような取り組みを一つずつ進めていきたい。

一方、働き方改革については「業務を減らすのではなく、業務をどう効率よく処理していくか、また義務を果たしてからの権利の主張がある。」という意見もある。具体的に何が要因となって多忙感につながっているのかについて、個々がしっかりと捉えなおすこと、すべてにおいて全力投球するのではなく、優先順位をつけて効率的に取り組むという視点を持つなど、意識改革も大切であると感じる。

改善策等のアイデア

- ・教諭でなくてもよい仕事を外部委託にする。(駐車場誘導、草刈り、トイレ掃除、ワックスがけ、会計業務等)
- ・職員増(持ち時数の減、業務負担減)
- ・教材研修日を増やす(教材研究の充実)
- ・教材研修日の充実(すべて個人の裁量とせず、グループで話し合う時間をもつ)
- ・校務分掌の均衡化(できる人にまかせすぎて、偏っている)
- ・会議の精選
- ・行事の精選
- ・課題をすぐには解決できないと思うが、個々が疑問に思うことは学年・教科・学部、各部署等で検討を重ね、改善策まで話し合えたら良い。(諦めず、少しずつ)
- ・一人一人が相手の立場になって考えたりを尊重したりすることにより、快適な職場環境が形成されると思う。
- ・職員の相談体制の構築(相談部署の明確化、Teams等を活用した相談体制の検討など)*職場全体が忙しそうで、相談しづらい

上記は、改善策としてあがっている内容の一部であるが、教諭でなくてもよい業務における負担感はとても大きいと感じている。特に駐車場の誘導に

については朝1回、昼2回の計3回、毎回5名の職員を30～40分配置している状況で、配置される人もほぼ固定され一部の職員が担っている状況にある。今年度はこの状況の改善に向けて様々な取り組みを行ってみたが、根本的な解決には至っていないのが現状である。今後、スクールバス停でデイサービス送迎を行う、保護者への更なる協力依頼、全職員で誘導のローテーションを組む等も検討していきたい。

改善策から職員の負担については、業務内容だけでなく、メンタルケア（相談しあえる環境）や課題の改善策を話し合える体制、快適な職場環境づくりのためにお互いが相手の立場を尊重できる関係づくり等も大切な要素であることがうかがえる。今後の取り組みの一つとして、ディスカッションや相談体制の構築についても考えていきたい。